

I. 健診受診者状況

1. 菊池市

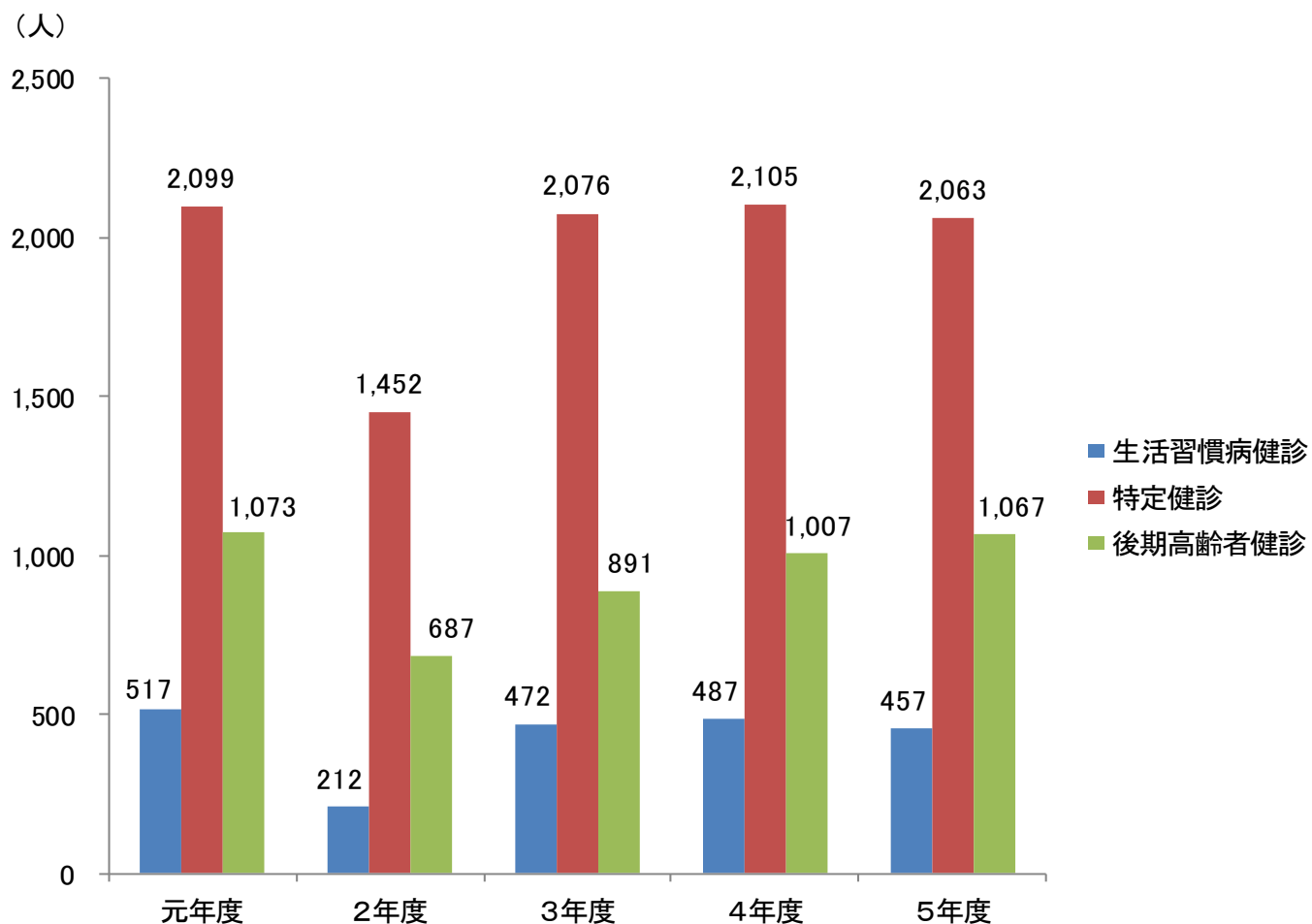
1) 住民健診

今年度は、住民健診(生活習慣病健診・特定健診・後期高齢者健診)とがん検診を同時に実施した。がん検診の項目・対象年齢及び、送迎バスについても例年どおりの実施であった。

また、昨年度までは、新型コロナウイルス感染症対策として密を避ける為、住民健診や肺がん検診等、本組合だけで実施できる健診項目のみを希望した方については、複合健診日以外の日程で案内していたが、全て複合健診日に案内しコロナ禍前の実施体制とした。

受診者数については、昨年度より後期高齢者健診が増加している。

図1. 年度別受診者数推移(各種健診)



2) 菊池市がん検診 年度別実績

今年度は、8月に台風接近により2日間中止になった。

受診者数は、乳房超音波検診と子宮頸がん検診以外は減少傾向にある。

●胃がん検診

(人)

年度年齢	元年度			2年度			3年度			4年度			5年度		
	男性	女性	要精密者数	男性	女性	要精密者数	男性	女性	要精密者数	男性	女性	要精密者数	男性	女性	要精密者数
～39歳	90	83	3				86	78	3	55	80	8	56	77	6
40～44歳	48	51	2	14	33	1	48	75	3	51	49	4	38	47	5
45～49歳	35	38	2	18	21	1	48	39	4	43	39	0	52	45	1
50～54歳	40	46	1	24	22	1	44	40	0	33	40	3	38	39	1
55～59歳	27	43	2	22	24	0	34	42	3	41	43	2	35	32	1
60～64歳	66	92	2	36	42	4	73	81	11	68	67	3	57	61	3
65～69歳	138	100	9	76	80	16	155	120	8	131	104	8	112	103	8
70～74歳	148	100	10	99	64	11	163	95	15	151	107	7	139	89	8
75～79歳	86	44	9	63	30	6	81	46	3	104	42	3	114	56	6
80歳～	29	15	3	8	5	0	29	15	0	25	7	1	40	14	0
小計	707	612	43	360	321	40	761	631	50	702	578	39	681	563	39
合計		1,319	43		681	40		1,392	50		1,280	39		1,244	39

●腹部超音波検診

(人)

年度年齢	元年度			2年度			3年度			4年度			5年度		
	男性	女性	要精密者数	男性	女性	要精密者数	男性	女性	要精密者数	男性	女性	要精密者数	男性	女性	要精密者数
～39歳	201	354	2				182	306	3	152	308	5	150	300	8
40～44歳	75	140	1				87	157	3	91	159	4	69	153	5
45～49歳	60	149	6				77	130	2	75	145	2	88	131	5
50～54歳	70	141	1				70	134	4	60	126	2	64	137	3
55～59歳	56	196	2				51	155	2	63	164	6	74	151	2
60～64歳	146	342	9				131	287	8	123	274	7	100	256	7
65～69歳	280	429	9				268	401	10	247	399	13	233	408	5
70～74歳	318	466	11				341	447	13	344	488	21	333	466	21
75～79歳	245	334	13				188	276	12	253	318	22	280	350	18
80歳～	241	259	19				218	206	14	230	231	11	220	252	12
小計	1,692	2,810	73	0	0	0	1,613	2,499	71	1,638	2,612	93	1,611	2,604	86
合計		4,502	73		0	0		4,112	71		4,250	93		4,215	86

●大腸がん(便潜血)検診

(人)

年度年齢	元年度			2年度			3年度			4年度			5年度		
	男性	女性	要精密者数	男性	女性	要精密者数	男性	女性	要精密者数	男性	女性	要精密者数	男性	女性	要精密者数
～39歳	100	191	19				95	158	12	57	148	12	50	86	6
40～44歳	73	158	12	99	124	12	64	128	16	72	142	9	37	61	3
45～49歳	54	99	14	26	72	4	70	102	5	69	119	8	55	58	3
50～54歳	66	105	12	39	66	5	61	106	11	57	106	7	44	61	5
55～59歳	49	145	16	35	106	6	58	122	11	61	118	7	42	60	3
60～64歳	113	297	25	61	187	15	115	256	28	109	241	22	68	136	4
65～69歳	277	379	43	172	268	30	259	355	33	209	337	19	157	224	23
70～74歳	279	373	57	212	313	41	325	377	54	310	382	44	244	285	32
75～79歳	191	249	41	120	159	33	176	219	39	209	252	28	217	236	30
80歳～	205	198	44	155	164	33	199	176	49	170	188	30	156	146	26
小計	1,407	2,194	283	919	1,459	179	1,422	1,999	258	1,323	2,033	186	1,070	1,353	135
合計		3,601	283		2,378	179		3,421	258		3,356	186		2,423	135

●乳房マンモグラフィ検診

(人)

年度年齢	元年度		2年度		3年度		4年度		5年度	
	女性	要精密者数	女性	要精密者数	女性	要精密者数	女性	要精密者数	女性	要精密者数
～39歳										
40～44歳	132	7	95	4	118	4	121	5	113	8
45～49歳	106	5	68	3	84	1	87	2	103	5
50～54歳	97	2	82	2	98	5	92	3	106	1
55～59歳	133	3	92	3	105	3	97	1	99	2
60～64歳	182	7	142	3	164	5	169	5	161	6
65～69歳	246	6	241	4	227	9	269	11	251	8
70～74歳	219	7	231	2	232	2	266	7	247	6
75～79歳	151	3	136	4	136	2	183	1	159	7
80歳～	81	3	69	1	78	1	111	0	109	1
合計	1,347	43	1,156	26	1,242	32	1,395	35	1,348	44

●乳房超音波検診

(人)

年度年齢	元年度		2年度		3年度		4年度		5年度	
	女性	要精密者数	女性	要精密者数	女性	要精密者数	女性	要精密者数	女性	要精密者数
～39歳	505	4			415	2	402	1	400	1
40～44歳	74	1			91	1	71	0	84	1
45～49歳	61	0			68	1	74	0	81	1
50～54歳	79	0			55	0	54	0	65	0
55～59歳	100	0			89	0	72	0	84	0
60～64歳	179	1			142	1	100	0	127	3
65～69歳	196	1			208	0	152	0	192	3
70～74歳	226	3			224	1	215	2	218	0
75～79歳	158	1			125	0	113	0	157	1
80歳～	122	1			100	0	87	1	105	0
合計	1,700	12	0	0	1,517	6	1,340	4	1,513	9

●子宮頸がん検診

(人)

年度年齢	元年度		2年度		3年度		4年度		5年度	
	女性	要精密者数	女性	要精密者数	女性	要精密者数	女性	要精密者数	女性	要精密者数
～39歳	260	7	89	1	219	3	227	3	222	9
40～44歳	116	3	68	1	127	1	107	1	125	3
45～49歳	96	1	52	0	93	0	92	2	104	1
50～54歳	102	3	64	1	97	1	88	1	97	3
55～59歳	116	1	63	0	105	1	106	1	111	1
60～64歳	188	2	114	0	172	1	158	0	130	0
65～69歳	249	0	180	1	236	2	235	1	250	1
70～74歳	268	2	188	0	282	2	285	0	272	1
75～79歳	176	0	110	0	161	3	178	0	179	3
80歳～	96	1	52	1	83	1	97	0	102	0
合計	1,667	20	980	5	1,575	15	1,573	9	1,592	22

3) 肺がん検診

今年度は前年度とほぼ同数の受診者数で推移している。

肺がん検診精検受診率について、昨年度と比較すると5.7%減少しているものの、高い受診率を保持しており、許容値を達成している。

今年度は肺がんが2例発見され、がん発見率および陽性反応的中度も許容値を達成している。発見されたがんは、腺がんと扁平上皮がんであった。

比較読影数については過去画像を有するすべての受診者に対して行っており、二重読影で要比較読影となった受診者においても再度比較読影を行っている。

喀痰検査実施状況について、喫煙年数及び1日の喫煙本数から算出される喫煙指数が600以上のハイリスク者に対して喀痰検査の重要性の説明を強化したことにより、今年度は喀痰検査該当者数が大幅に増加している。次年度も説明強化を継続し、肺がん早期発見に繋げていきたい。

図1. 肺がん検診精検受診率 年次推移

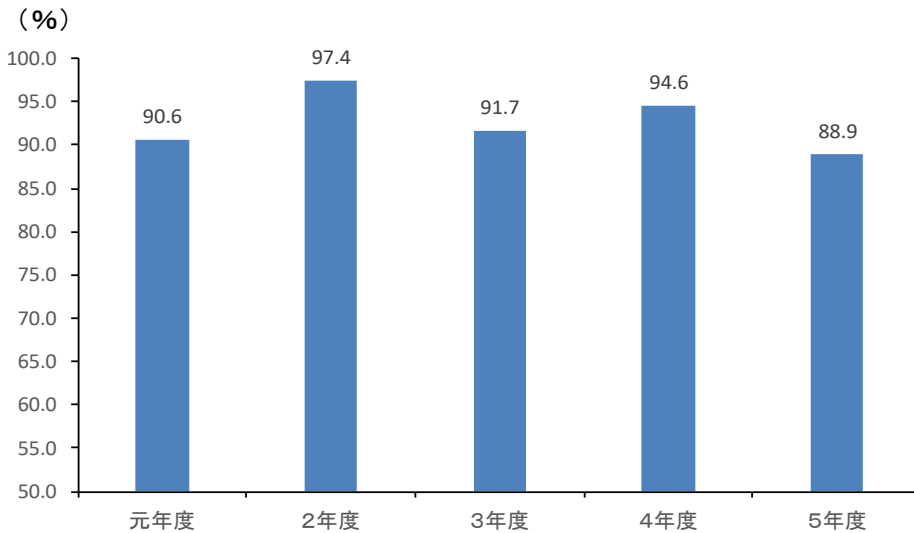


表1. 胸部X線及び喀痰検査判定内訳 (人)

	異常なし	軽度異常	経過観察	要精検	治療中	総数
胸部X線	1,846	170	82	98	2	2,198
喀痰検査	101	0	0	0	0	101

表2. 年度別肺がん検診成績

	総数 A(人)	要精検数 B(人)	要精検率 B/A(%)	精検受診数 C(人)	精検受診率 C/B(%)	がん発見数 F(人)	がん疑い数 (人)	がん発見率 F/A(%)	陽性反応 的中度 F/B(%)
元年度	2,321	53	2.28	48	90.6	2	0	0.09	3.77
2年度	1,408	38	2.70	37	97.4	1	0	0.07	2.63
3年度	2,320	96	4.14	88	91.7	0	2	0.00	0.00
4年度	2,194	74	3.37	70	94.6	0	0	0.00	0.00
5年度	2,198	98	4.46	87	88.9	2	2	0.09	2.04
プロセス指標 (許容値)			3.00以下		70.0以上			0.03以上	1.30以上

表3. 年度別喀痰検査実施状況

	喀痰検査 該当者数 G(人)	喀痰検査 実施数 H(人)	喀痰 未提出者数 (人)	提出率 H/G(%)
元年度	34	34	0	100.0
2年度	22	22	0	100.0
3年度	24	24	0	100.0
4年度	39	36	3	92.3
5年度	110	101	9	91.8

表4. 発見肺癌病期分類

病期分類	T 原発巣	N 所属 リンパ節	M 遠隔転移
I A2期	T1b	NO	MO
I A3期	T1c	NO	MO

4) 結核検診

今年度の受診者数は前年度とほぼ同数で推移している。ここ数年要精検数が多くなっているが、精検受診率は高水準を保っていることがわかる。

がん疑いの者5人のうち1人の返答があり、肺腺がんであった。

表1. 結核検診 年度別受診者数 (人)

		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
65歳以上	検診	1,597	960	1,398	1,557	1,548
	巡回	159	308	152	101	93
	合計	1,756	1,268	1,550	1,658	1,641
65歳未満※ ※65歳未満は自己 負担での検査	検診	0	2	5	1	1
	巡回	1	2	2	0	0
	合計	1	4	7	1	1
年度総数		1,757	1,272	1,557	1,659	1,642

表2. 結核検診 判定内訳 (人)

異常なし	軽度異常	経過観察	要精検	治療中	総数
1,233	199	86	124	0	1,642

図1. 精検受診率 年次推移

(%)

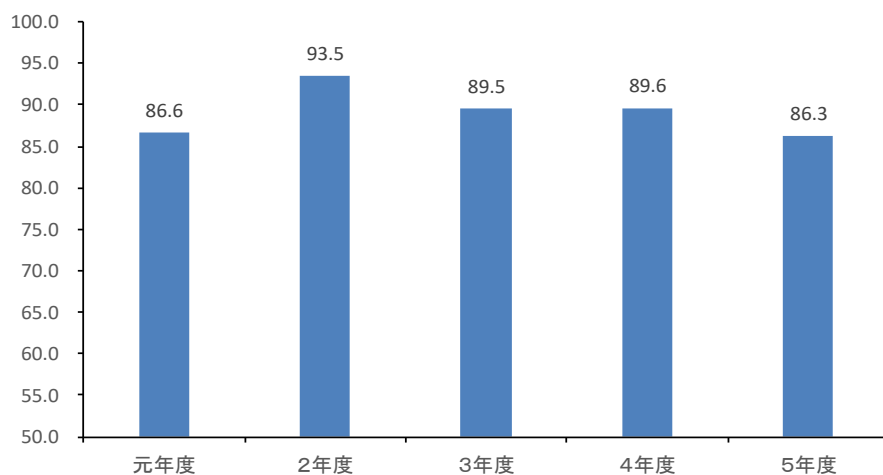


表3. 結核検診成績

	総数 A(人)	要精検数 B(人)	要精検率 B/A(%)	精検受診数 C(人)	精検受診率 C/B(%)	結核発見数 F(人)	結核発見率 F/A(%)	結核疑い G (人)
元年度	1,757	82	4.66	71	86.6	0	0	0
2年度	1,272	62	4.87	58	93.5	0	0	0
3年度	1,557	105	6.76	94	89.5	0	0	0
4年度	1,659	96	5.79	86	89.6	0	0	1
5年度	1,642	124	7.55	107	86.3	0	0	0

	がん発見数D (人)	がん発見率D /A(%)	がん疑数 E(人)
元年度	3	0.17	1
2年度	1	0.08	1
3年度	1	0.06	3
4年度	1	0.06	2
5年度	1	0.06	5

表4. 発見肺癌病期分類

病期分類	T 原発巣	N 所属 リンパ節	M 遠隔転移
I A2期	T1b	NO	MO

5) 人間ドック

今年度の日帰りドックの受診者数は、昨年度と比較すると減少となった。
また、通院2日ドックについては、2人増加した。

表1. 各種ドック年度別受診者数 (人)

	日帰りドック (1日・ライト)	通院2日ドック	合計	対前年比
元年度	94	2	96	—
2年度	57	0	57	△ 39
3年度	88	2	90	33
4年度	97	1	98	8
5年度	85	3	88	△ 10

表2. 年齢別受診者数 (人)

	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
70歳未満	74	41	67	70	69
70歳以上	22	16	23	28	19
合計	96	57	90	98	88

※健診受診日年齢とする。

6) 肝炎ウイルス検査

肝炎ウイルス検査の受診者数は、健診では2年度に激減したのち、4年度までは増加傾向にあったが、5年度にはまた減少した。二次健診は、元年度以降受診者はいない。

表1. 肝炎ウイルス検査 年度及び年齢別受診数 (人)

年齢	肝炎検査									
	元年度		2年度		3年度		4年度		5年度	
	健診	二次健診	健診	二次健診	健診	二次健診	健診	二次健診	健診	二次健診
40歳	35	0	14	0	53	0	47	0	39	0
41～69歳	21	3	11	0	8	0	20	0	11	0
70歳以上	3	1	0	0	0	0	2	0	0	0
小計	59	4	25	0	61	0	69	0	50	0
合計	63		25		61		69		50	

2. 合志市

1) 住民健診

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、送迎バスを中止した。特定健診と後期高齢者健診の対象者に加えて、生活習慣病健診(国民健康保険加入)の方には、市が希望調査を行い、本組合を希望した方のみに、予約日と予約時間を記載した問診票を郵送した。

受診者数については、昨年度より特定健診以外、増加傾向にある。

また、図1の健診の他に、プレミアム健診や子育て世代リフレッシュ健診も実施しており、プレミアム健診については減少傾向にある。子育てリフレッシュ健診については、今年度は実施していない。

図1. 年度別受診者数推移(各種健診)

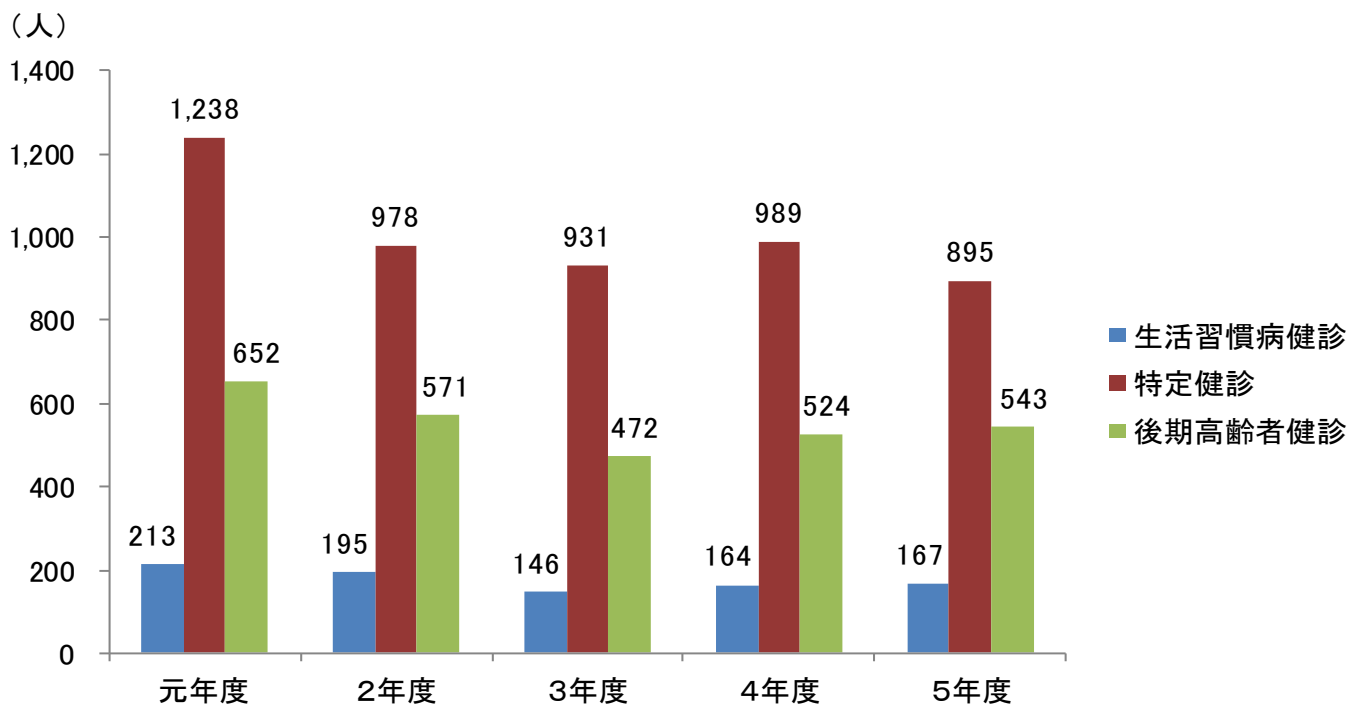


表1. プレミアム健診・子育て世代リフレッシュ健診 (人)

	プレミアム健診	子育て世代リフレッシュ健診※
元年度	50	20
2年度	21	新型コロナウイルス感染症の影響により未実施
3年度	33	新型コロナウイルス感染症の影響により未実施
4年度	48	12
5年度	44	未実施

※～令和3年度までは、「子育てママリフレッシュ健診」。令和4年度より変更。

2) 胸部レントゲン検査

これまでの結核健診及び肺がん検診に代わり、令和2年度より胸部レントゲン検査として検診が行われるようになった。受診者数は、令和4年度に比べ200人程減少した。健診受診者数が全体的に減少していることが要因の一つと考えられる。

発見がん4人のうち2人はI B期であり、早期がんだった。

図1. 胸部レントゲン検査精検受診率 年次推移

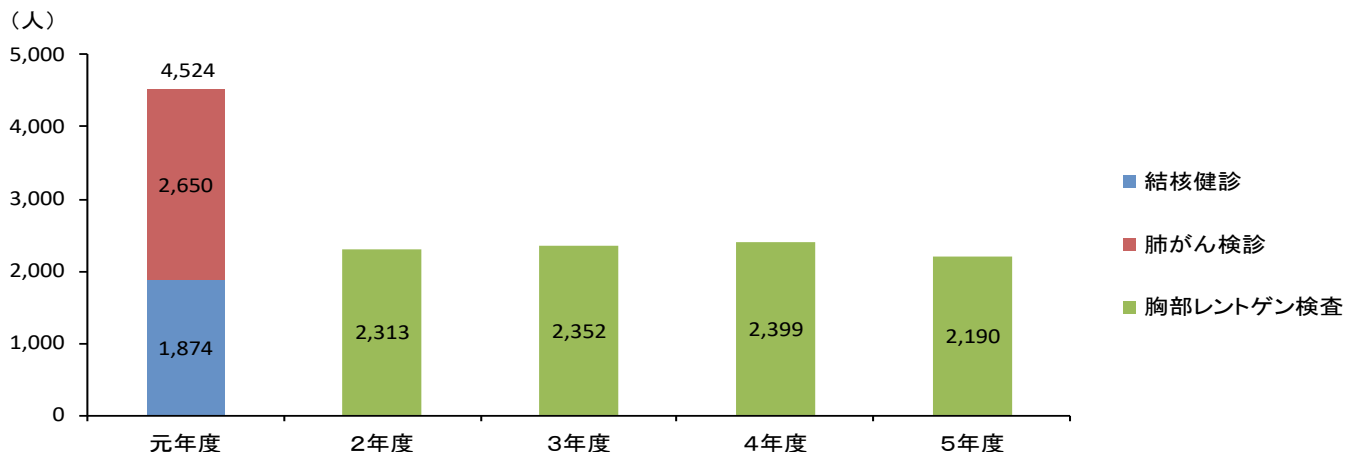


表1. 胸部レントゲン検査及び喀痰検査判定内訳 (人)

	異常なし	軽度異常	経過観察	要精検	治療中	総数
胸部X線	1,713	249	100	128	0	2,190
喀痰検査	0	0	0	0	0	0

表2. 胸部レントゲン検査成績 (令和元年度以前の()内は肺がん検診受診者)

	総数 A(人)	要精検数 B(人)	要精検率 B/A(%)	精検受診数 C(人)	精検受診率 C/B(%)	がん発見数 F(人)	がん疑い数 (人)	がん発見率 F/A(%)	陽性反応 的中度※ F/B(%)
元年度	4,524 (2,650)	122 (58)	2.53 (2.23)	114 (54)	91.9 (91.5)	4 (3)	4 (3)	0.09 (0.11)	5.08
2年度	2,313	95	4.11	88	92.6	5	2	0.22	5.26
3年度	2,352	118	5.02	105	89.0	3	7	0.13	2.54
4年度	2,399	157	6.54	141	89.8	3	4	0.13	1.91
5年度	2,190	128	5.84	115	89.8	4	5	0.18	3.13
プロセス指標 (許容値)			3.00以下		70.0以上			0.03以上	1.30以上

※令和元年度以前は肺がん検診のみで算出

表3. 発見がん内訳

年齢	性別	病期分類
70代	男性	I B
70代	女性	I B
70代	女性	III B
70代	男性	不明

表4. 年度別喀痰検査実施状況

	喀痰検査 該当者数 G(人)	喀痰検査 実施数 H(人)	喀痰 未提出者数 (人)	提出率 H/G(%)
元年度	11	11	0	100.0
2年度	0	0	0	0.0
3年度	0	0	0	0.0
4年度	1	1	0	100.0
5年度	0	0	0	0.0

3) 人間ドック

申込開始時期は例年通りであったが、受診者数は、令和元年度(コロナ前)を上回る数となった。また、通院2日ドックについては、横ばい状態となっている。

表1. 各種ドック年度別受診者数 (人)

	日帰りドック (1日・シンプル・ライト)	通院2日ドック	合計	対前年比
元年度	289	4	293	—
2年度	261	7	268	△ 25
3年度	271	5	276	8
4年度	265	5	270	△ 6
5年度	302	5	307	37

表2. 年齢別受診者数 (人)

	日帰りドック			通院2日コース	合計
	標準コース	シンプルコース	ライトコース		
75歳未満	200	22	8	1	231
75歳以上	71	1	0	4	76

※健診受診日年齢とする。

3. 企業健診

令和4年10月1日より自治体の会計年度任用職員に係る保険者変更に伴い、協会けんぽ受診者が減少し、労働安全衛生法に基づく定期健康診断が増加している。

胃がん検診状況は、胃内視鏡受診者数、胃バリウム受診者数どちらも減少し、全体の未受診率も増加している。

表1.企業健診受診者数

	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	対前年比
生活習慣病予防健診 (協会けんぽ)	5,275	5,387	5,654	5,229	5,114	△ 115
代行機関企業健診 被扶養者健診	546	336	465	391	394	3
労働安全衛生法に基 づく定期健康診断	4,310	4,226	4,356	4,654	4,830	176
ホンダ健康保険組合健診	515	545	534	506	515	9
深夜業務健診	1,010	968	985	1,132	1,138	6
総数	11,656	11,462	11,994	11,912	11,991	79

図1.年度別受診者数

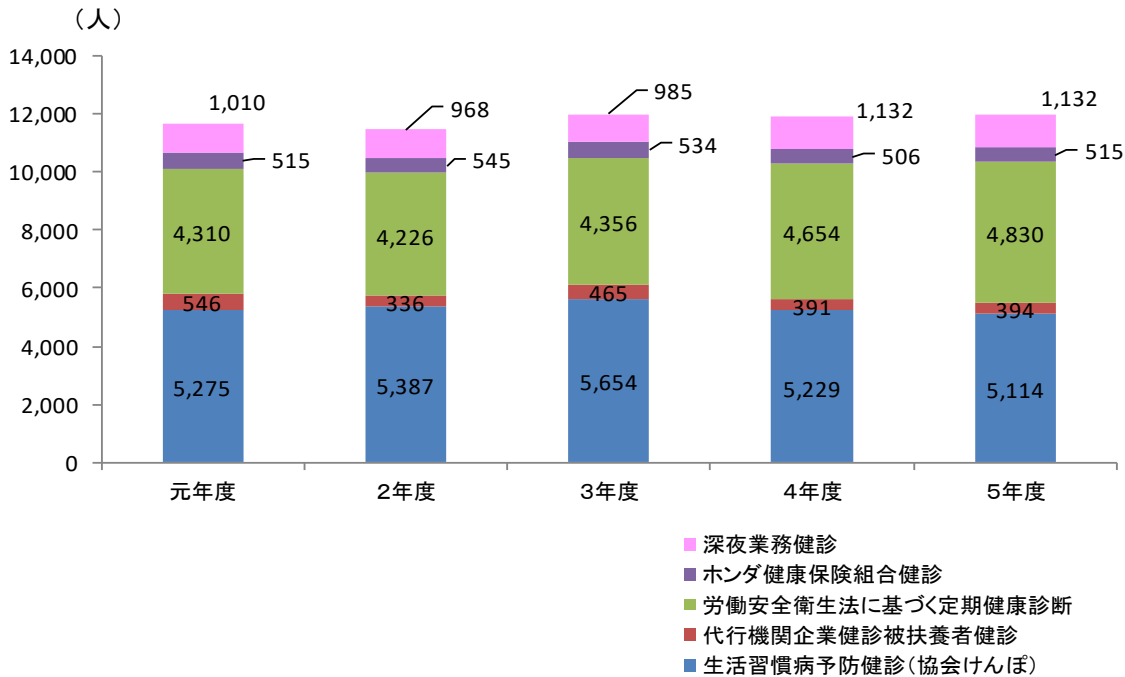
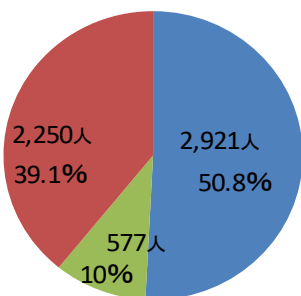


図2.胃がん検診受診状況



	4年度	5年度	対前年比
胃バリウム受診者数(人)	3,041	2,921	△ 120
胃内視鏡受診者数(人)	601	577	△ 24
胃がん検診未受診者数(人)	2,095	2,250	155
胃検診未受診率(%)	36.5	43.5	7.0
総数(人)	5,737	5,748	11

- 胃バリウム受診者数(人)
- 胃内視鏡受診者数(人)
- 胃がん検診未受診者数(人)

4. 協会けんぽ肝炎ウイルス検査

協会けんぽ肝炎ウイルス検査の受診者数は、人間ドックでは増加傾向にあるが、健診では前年度に比べると74%減となっている。これは令和4年度までは一部企業の健診項目に追加されていたが、今年度は希望者のみだったためと考えられる。

表1. 年度及び年齢別受診者数

(人)

年齢	3年度			4年度			5年度		
	健診	人間ドック	二次健診	健診	人間ドック	二次健診	健診	人間ドック	二次健診
35-39歳	5	11	4	2	13	3	2	10	2
40-44歳	13	13	1	12	16	2	5	18	3
45-49歳	5	25	1	5	19	2	2	19	3
50-54歳	9	31	1	8	23	2	1	24	3
55-59歳	4	18	2	7	24	2	0	27	2
60-64歳	6	30	1	6	37	2	1	35	1
65-69歳	1	25	2	2	24	2	2	24	0
70-74歳	2	15	0	7	17	0	0	16	0
75歳（当日74歳）	0	1	0	0	1	0	0	1	0
小計	45	169	12	49	174	15	13	174	14
合計	226			238			201		

5. その他の人間ドック

今年度は、事業所の中で受診者が増えたことに伴い、ライトコースが増加傾向にある。

図1. コース別人間ドック

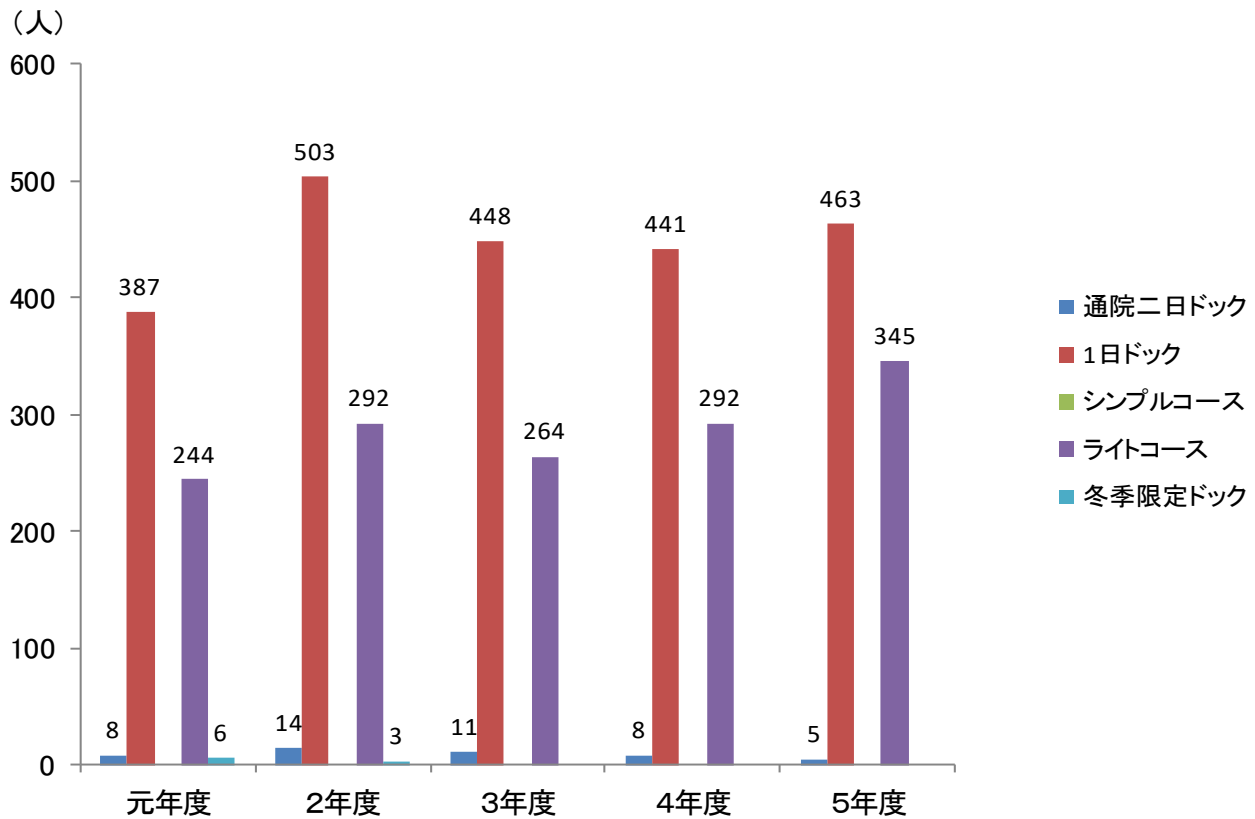


表1. 各種人間ドック年度別受診者数 (人)

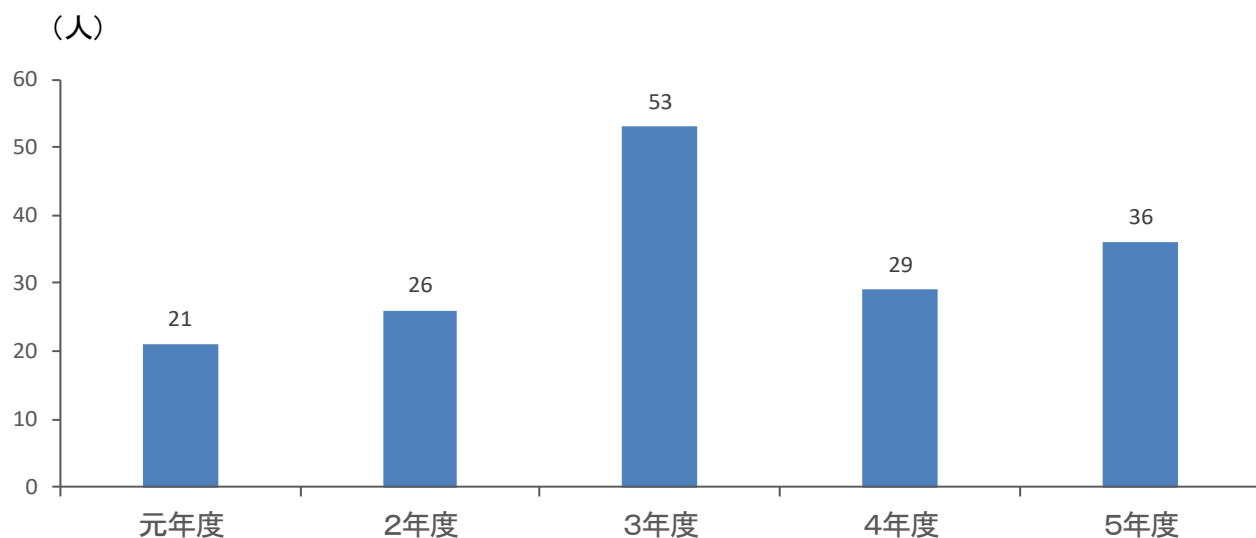
	通院二日ドック	日帰りドック			冬季限定ドック
		1日ドック	シンプルコース	ライトコース	
元年度	8	387	0	244	6
2年度	14	503	0	292	3
3年度	11	448	0	264	0
4年度	8	441	0	292	0
5年度	5	463	0	345	0

6. 過重労働健診

1) 年度別受診者数

年度別受診者数は昨年度より増加している。新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことで、業務が通常通りに戻ってきていることなどが考えられる。

図1. 年度別 受診者数



2) 健診判定区分内訳

過重労働健診で医師との面談の結果、就業制限(時間外労働の制限等)など必要な就業措置が出されている。労働者の健康維持や労働災害の予防のためにも、企業や企業担当者に対して過重労働健診の受診を勧めるとともに、事後措置が適切に取られるよう促していきたい。

表1. 健診判定区分内訳

(人)

診断区分	異常なし	要観察	要医療
	16	20	0
就業区分	通常勤務	就業制限	要休業
	25	11	0
指導区分	指導不要	要保健指導	要医療指導
	36	0	0

7. ストレスチェック

労働者のストレスの状況について検査(問診)を行い、本人のストレスの自覚を促し、対処法の提案や、集団分析を行うことで、職場環境の改善につなげることを目的としている。

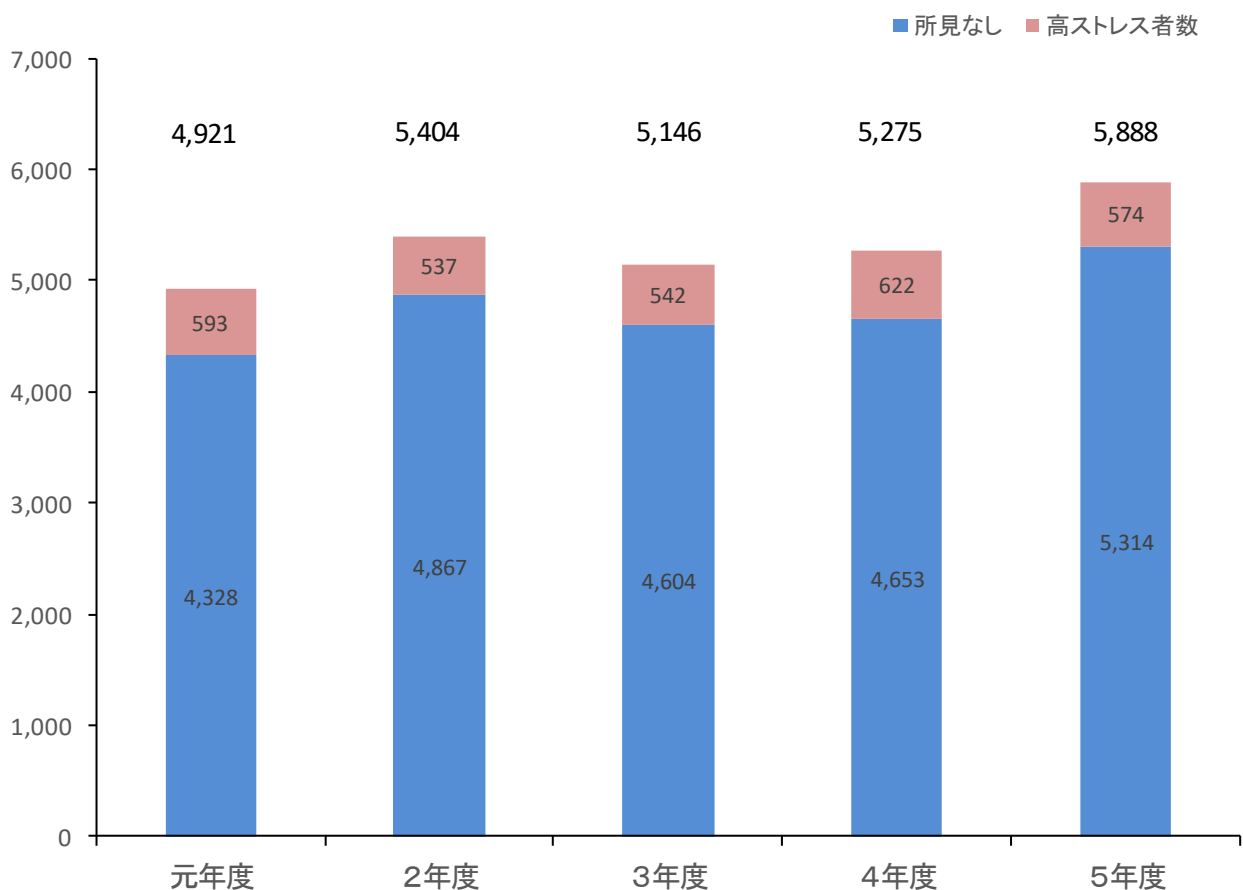
昨年度よりも高ストレス者数の割合は減少している。

表1.受診者数と高ストレス者数

	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	対前年比
ストレスチェック受診者数(人)	4,921	5,404	5,146	5,275	5,314	39
高ストレス者数(人)	593	537	542	622	574	△ 48
高ストレス者の割合(%)	12.1	9.9	10.5	11.8	10.8	△ 1.0

図1.年度別受診者数と高ストレス者数

(人)



Ⅱ. 保健指導

1. 菊池市

1) 特定保健指導

令和2年度以降高い実施率を維持できている。健診日当日実施や後日実施の手紙・電話による呼びかけによるものと思われる。メタボリックシンドローム判定においては、該当者率の減少及び非該当者率の増加が見られ、特定保健指導を実施していることによる効果も影響していると考えられる。

	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
対象者総数(人)	361	249	346	309	301
実施者総数(人)	230	242	319	284	278
実施率(%)	63.7	97.2	92.2	91.9	92.4

コース	階層化判定	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	
特定健診	積極的	対象者数(人)	80	79	123	90	83
		受診者数(人)	72	76	112	81	75
		実施率(%)	90.0	96.2	91.1	90.0	90.4
	動機付け	対象者数(人)	231	164	212	202	207
		受診者数(人)	126	161	196	187	196
		実施率(%)	54.5	98.2	92.5	92.6	94.7
人間ドック	積極的	対象者数(人)	1	1	4	8	5
		受診者数(人)	1	1	4	8	2
		実施率(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	40.0
	動機付け	対象者数(人)	10	5	7	9	6
		受診者数(人)	10	4	7	8	5
		実施率(%)	100.0	80.0	100.0	88.9	83.3
メタボリックシンドローム判定	該当者数(人)	407	360	470	415	375	
	予備軍該当者数(人)	235	163	250	199	206	
	非該当者数(人)	1,466	1,104	1,148	1,382	1,375	

※元年度は、厚生連ドック及び他機関での健診受診者の保健指導委託事業による保健指導対象者・実施者も含む

図1. 特定健診の特定保健指導 実施率年度推移

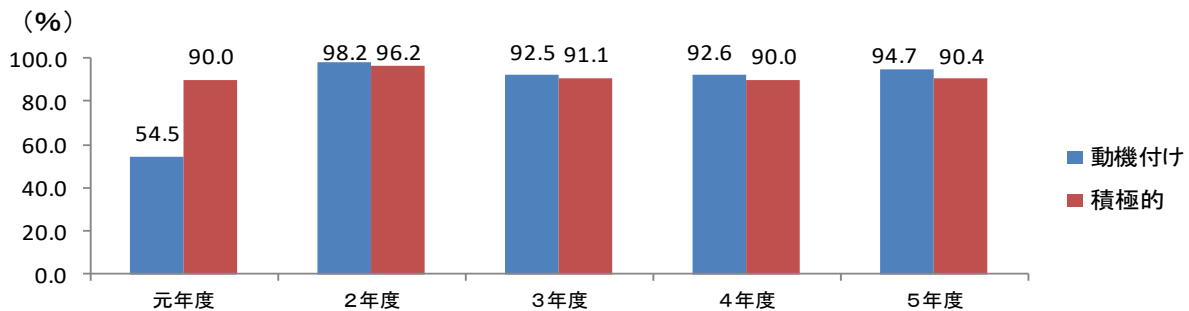
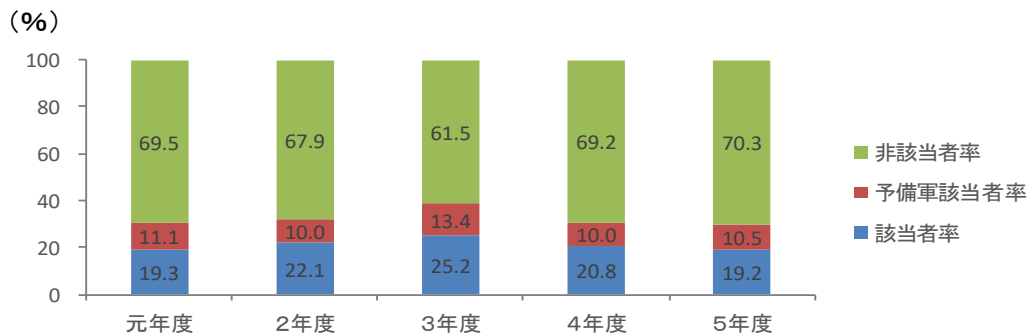


図2. メタボリックシンドローム判定 年度推移



2) 健康づくり支援事業

5年度から、筋力アップによるロコモティブシンドロームや生活習慣病の予防を目的とした「筋力アップセミナー」を市の委託のもとにスタートした。

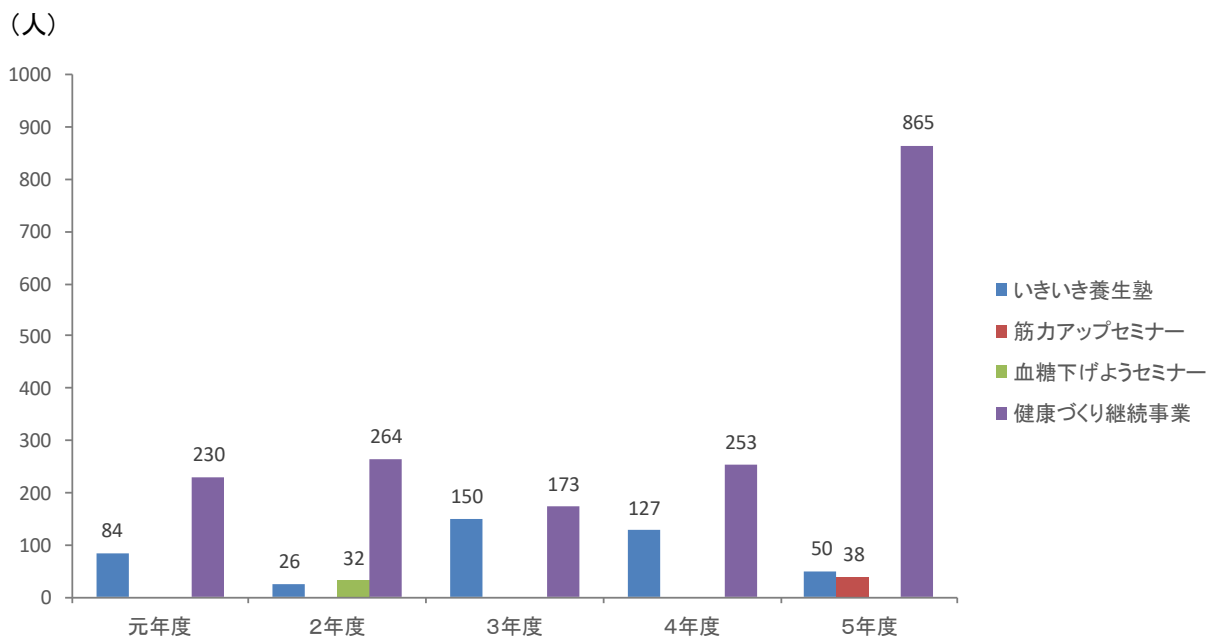
いきいき養生塾と筋力アップセミナーは、新型コロナウイルス感染症の5類への移行を受けて、マスク着用を原則としながら、1回の参加者数を20名程度として、この数年よりも増やして実施した。

また、新型コロナウイルス感染症の流行により始めたYouTubeによるエクササイズ動画の配信は今年度も継続して実施しており、多くの方が視聴していた。

今後も、いきいき養生塾と筋力アップセミナーへの参加により始めた健康づくりの取り組みを、継続事業でフォローアップしながら、住民の健康づくりの習慣化を目指す。

教室名	事業目的	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
いきいき養生塾	メタリックシンドロームや糖尿病などの生活習慣病、転倒骨折を予防する、基本的な知識や方法の習得を目指す。	84	26	150	127	50
筋力アップセミナー	フレイル予防を目的とした筋力維持・向上のための健康講座					38
血糖下げようセミナー	糖尿病の予防と改善		32			
健康づくり継続事業	健康づくりに繋がる運動や食事の取り組みの継続や、地域の自主的な健康づくりコミュニティの形成を目指す。	230	264	173	253	865
合計		314	322	323	380	953

図1. 参加者数年度推移



3) その他

菊池市の個人、団体からの依頼で実施した健康づくり事業の実施人数を記載する。

(人)

		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
地域出前講座(生活習慣予防・認知症予防・食育講座・健康料理教室等)		48	0	150	95	140
菊池市生涯学習健康教室講座(体操教室)		16	10	14		13
七城温泉ドームわくわく健康セミナー	健康相談等	82				
	健康メニュー提供と講話	123				
水源交流館宅配弁当分析およびアドバイザー	弁当分析※	3	1	2	2	2
合計		272	11	166	97	155

※弁当分析は実施回数

2. 合志市

1) 特定保健指導

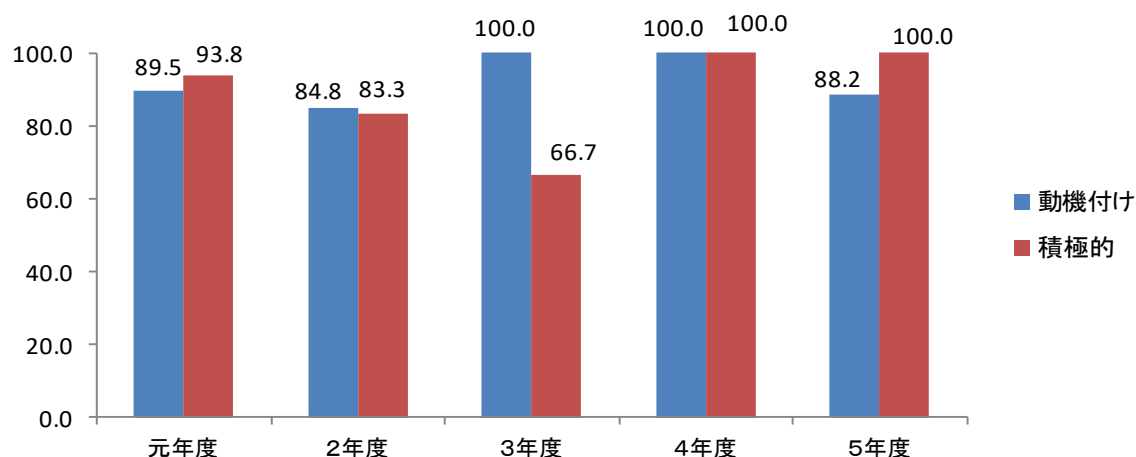
<人間ドック>

合志市住民に関しては、人間ドック受診者のみに特定保健指導を実施している。
今年度も高い実施率を達成できており、これは当日実施によるものだと考えられる。

	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
特定保健指導 対象者総数(人)	35	39	32	25	22
特定保健指導 実施者総数(人)	32	33	30	25	20
特定保健指導 実施率(%)	91.4	84.6	93.8	100.0	90.9

		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
積極的	対象者数(人)	16	6	6	6	5
	実施者数(人)	15	5	4	6	5
	実施率(%)	93.8	83.3	66.7	100.0	100.0
動機付け	対象者数(人)	19	33	26	19	17
	実施者数(人)	17	28	26	19	15
	実施率(%)	89.5	84.8	100.0	100.0	88.2
メタボリックシンドローム判定	該当者数(人)	53	49	51	53	42
	予備軍該当者数(人)	23	27	24	20	24
	非該当者数(人)	161	149	148	130	159

図1. 人間ドックの特定保健指導 実施率年度推移 (%)



2) ウェルネスシティこうし

子育て世代リフレッシュ健診の今年度の実施は無かった。

実施年度	教室名	内容	回数	期間	クール	参加人数
元年度	ウェルカム元気の森	健康情報提供	3	-	-	84
	子育てママリフレッシュ健診	健康情報提供	2	-	2	20
2年度	子育てママリフレッシュ健診	健康情報提供	新型コロナウイルス感染症拡大に配慮し中止			
3年度	子育てママリフレッシュ健診	健康情報提供	新型コロナウイルス感染症拡大に配慮し中止			
4年度	子育て世代リフレッシュ健診	健康情報提供	10～12月に実施			
5年度	子育て世代リフレッシュ健診	健康情報提供	-			

※自由参加にて、推定人数。

※～令和3年度までは、「子育てママリフレッシュ健診」。令和4年度より変更。

3) その他

例年、市からの委託にて健診後のフォローとして医療機関への受診勧奨や日常生活の注意などを目的に実施しているが、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響で委託は無かった。

(人)

	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
後期高齢者 結果説明会	44	-	-	-	-

3. 協会けんぽ

1) 特定保健指導

高い実施率を維持できており、これは当日実施による効果が大きいと思われる。

メタボリックシンドローム判定の各項目の割合について、昨年から大きな変化はない。

令和6年度から第4期特定保健指導が始まり、支援方法や評価方法も変わってくるため、今後も事例検討や研修等への参加などによって指導効果の向上を図りたい。

	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
対象者総数(人)	1,005	1,031	1,026	988	954
実施者総数(人)	802	857	900	853	827
実施率(%)	79.8	83.1	87.7	86.3	86.7

		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
積極的	対象者数(人)	653	667	674	655	639
	実施者数(人)	485	528	553	527	523
	実施率(%)	74.3	79.2	82.0	80.5	81.8
動機付け (動機付け支援相当含む)	対象者数(人)	352	364	352	333	315
	実施者数(人)	317	329	347	326	304
	実施率(%)	90.1	90.4	98.6	97.9	96.5
メタボリックシンドローム 判定	該当者数(人)	896	961	993	955	957
	予備軍該当者数(人)	518	579	609	568	558
	非該当者数	3,032	3,054	3,079	3,004	2,958

図1. 協会けんぽの特定保健指導 実施率年度推移

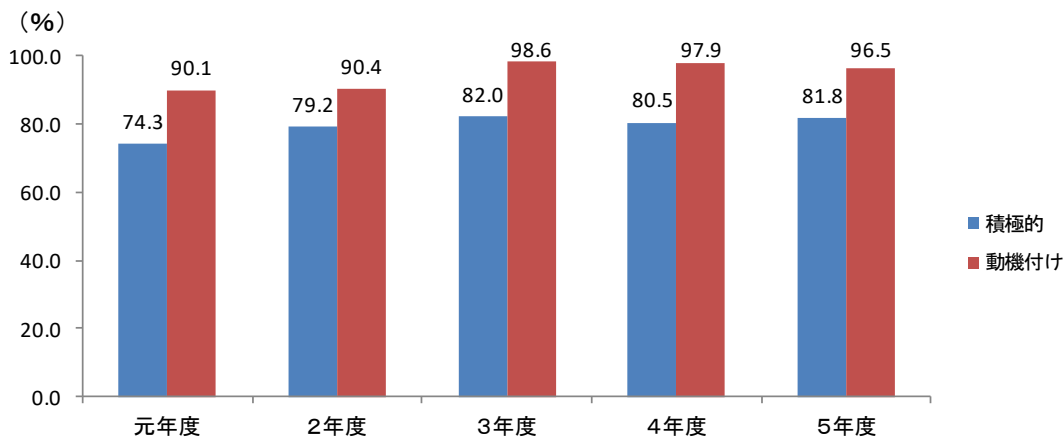
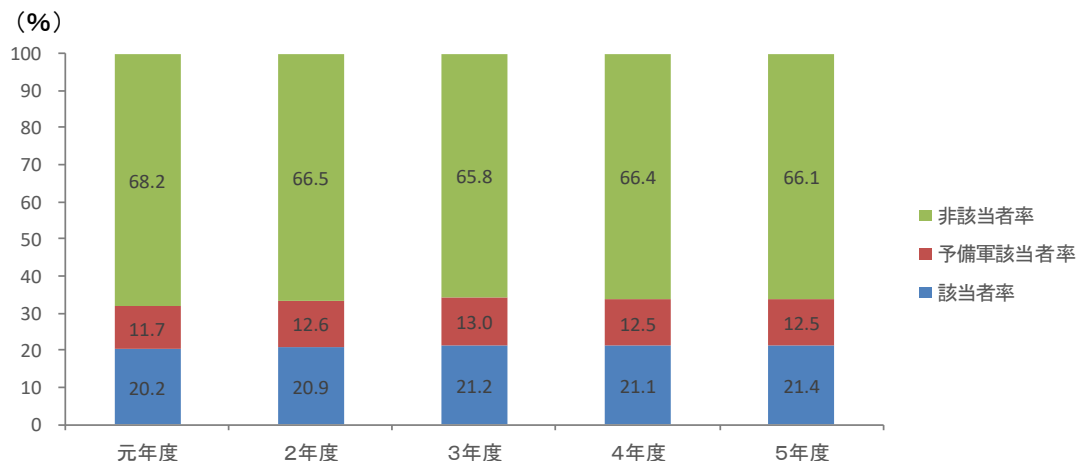


図2. メタボリックシンドローム判定 年度推移



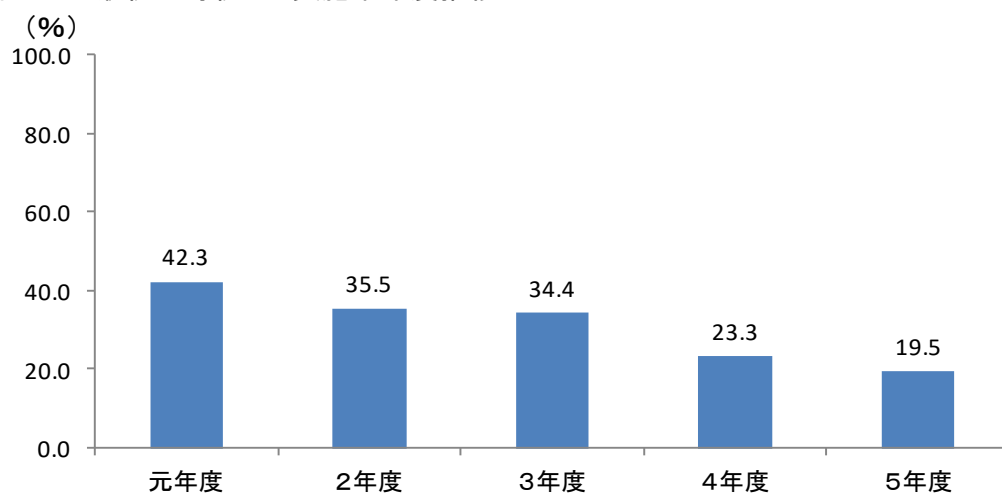
2) 血液検査等検査(特定保健指導二次健診)

実施率は年々低下傾向である。理由としては、リピーターの方の増加や精密検査受診率の向上により、二次健診の必要性を感じる人が減っていることなどが考えられる。

対象者ができるだけ二次健診を受診して生活習慣改善の重要性を理解してもらうためにも、指導方法の見直しを行い、初回指導時に二次健診の必要性をよりの確に伝える必要がある。

	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
対象者総数(人)	784	857	866	1,023	990
実施者総数(人)	332	304	298	238	193
実施率(%)	42.3	35.5	34.4	23.3	19.5

図1. 血液検査等検査 実施率年度推移



4. その他

1) 特定保健指導

特定保健指導のうち、これまでに記載していない保険者について下表にて記載する。

(人)

保険者名	階層化判定		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
市町村職員 共済組合	積極的	対象者数	1	2	3	3	1
		実施者数	1	2	3	3	1
	動機付け (動機付け相当含む)	対象者数	1	1	0	2	1
		実施者数	0	1	0	2	1
公立学校 共済組合	積極的	対象者数	7	3	6	4	5
		実施者数	6	3	6	4	5
	動機付け (動機付け相当含む)	対象者数	5	7	7	6	6
		実施者数	4	6	7	5	6
支払基金	積極的	対象者数	24	22	23	25	42
		実施者数	24	22	23	25	42
	動機付け (動機付け相当含む)	対象者数	17	11	11	9	21
		実施者数	17	11	11	9	21
ホンダ健康 保険組合	積極的	対象者数	38	43	44	37	30
		実施者数	38	42	43	37	30
	動機付け (動機付け相当含む)	対象者数	23	19	26	28	26
		実施者数	23	19	25	27	26
東京都鉄二 保険組合	積極的	対象者数	4	2	0	1	4
		実施者数	4	2	0	1	4
	動機付け (動機付け相当含む)	対象者数	2	3	2	3	1
		実施者数	2	3	2	3	1
厚生労働省第二 共済組合	積極的	対象者数	28	35	24	17	20
		実施者数	28	34	19	17	18
	動機付け (動機付け相当含む)	対象者数	29	29	33	26	22
		実施者数	29	25	31	26	21
合計	積極的	対象者数	102	107	100	87	102
		実施者数	101	105	94	87	100
		実施率(%)	99.0	98.1	94.0	100.0	98.0
	動機付け (動機付け相当含む)	対象者数	77	70	79	74	77
		実施者数	75	65	76	72	76
		実施率(%)	97.4	92.9	96.2	97.3	98.7

2) 企業の健康教室

社員の生活習慣病発症を予防し、定年まで元気に働き続けられることを目的として健康セミナーを特定保健指導対象者を中心に1社で実施をしている。

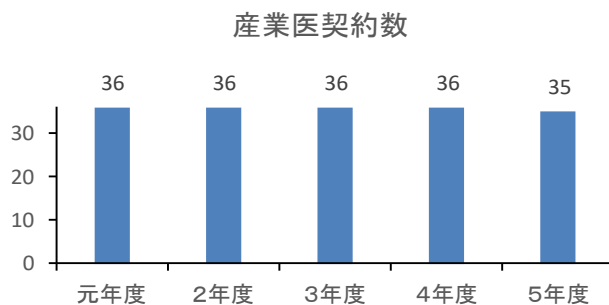
今年度は12月に特定保健指導の動機づけ支援の対象者にて初回面接を兼ねたグループセミナーを2回実施した。

日程	テーマ	人数
12月14日	カラダがかわるセミナー	5
12月21日	カラダがかわるセミナー	13

3) 産業医活動

産業医として3名の医師が職場巡視や健康相談、労働安全衛生委員会への出席などを行っている。産業医契約を行っている事業所は35事業所であり、立地的な面から菊池市や合志市が多い。契約事業所の追加や契約終了等はあるが、事業所数の大きな変化はない。

- ①菊池市 … 15事業所
- ②合志市 … 10事業所
- ③菊陽町 … 3事業所
- ④大津町 … 2事業所
- ⑤熊本市 … 5事業所



4) 過重労働健康相談

働く人の心の健康の保持増進を目的として、依頼のあった企業の過重労働者(月60時間以上)に対して保健師が健康相談を行っている。主に、勤務状況の把握や心身の状態について聞き取り、就業に問題がないかどうかを確認している。

3年度、4年度はコロナ禍の影響により、様々な職種・業種において業務量が増加し、それに伴い受診者数が大幅に増加したと推測される。また、5年度には新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、受診者数が減少したと考えられる。

表1. 過重労働健康相談実施者数

受診者数	(人)				
	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
	1	1	37	25	2

Ⅲ. 二次検診

1. 労災二次検診

受診者数は前年度より増加している。また、精密受診率は昨年と比較してやや低下しており、引き続き受診勧奨を行っていく。

表1. 労災二次検診受診者数 (人)

	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
受診者数	92	103	94	109	128

表2. 要精検・要治療者 医療機関受診率

	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
紹介状発行(人)	21	30	30	28	28
精検受診者(人)	12	15	16	16	14
精検受診率(%)	57.1	50.0	53.3	57.1	50.0

2. 菊池市・合志市二次検診

菊池市では、糖尿病が重症化するリスクの高い未治療者(HbA1c6.5%以上)を適切な受診勧奨によって医療に結び付けると共に、医療機関と連携した保健指導等により、人工透析への移行を防止することを目的として微量アルブミン尿検査を実施している。

合志市では、腎症を早期発見するために微量アルブミン検査、動脈硬化の進行を調べる目的として希望者に対し頸動脈エコー検査を実施している。

表1. 二次検診受診者数推移 (人)

	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
菊池市	6	1	3	12	0
合志市	5	11	11	7	5

IV. 外来

1. 外来受診者数の推移

令和元年度から外来診療時間を変更し、月～木曜日は10時～12時・14時～17時、金曜日は10時～12時までとしている。

今年度は、新患者は増加したが再診はやや減少した。月別で見ると、9月から10月にかけて住民健診の精密検査依頼書の持参が多くみられたため、新患者数が増加した。それにともない、10月11月の患者数も増加している。1月2月は、感染症の流行により1回の処方日数が長くなったため、患者数が減少した。

3月は、診療日が少なかったため他の月とくらべて患者数が少なくなっている。

図1. 外来患者数の推移（健康診断除く）

(人)

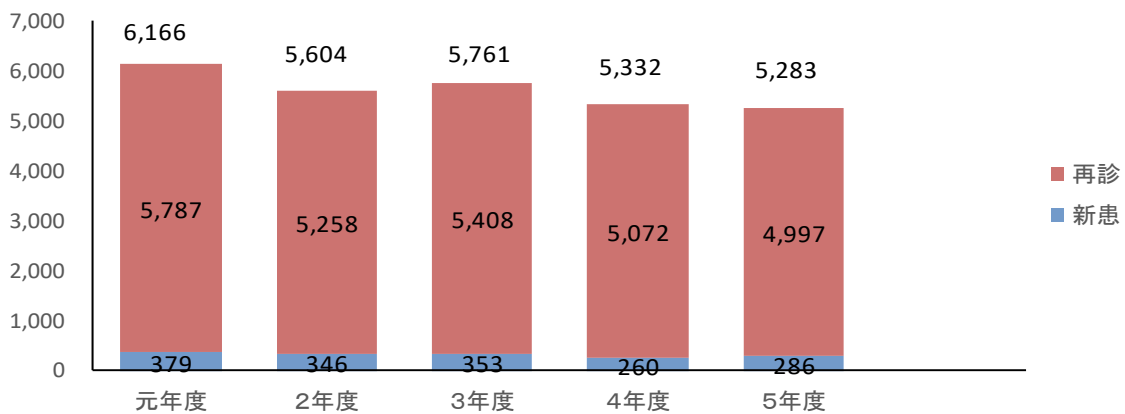
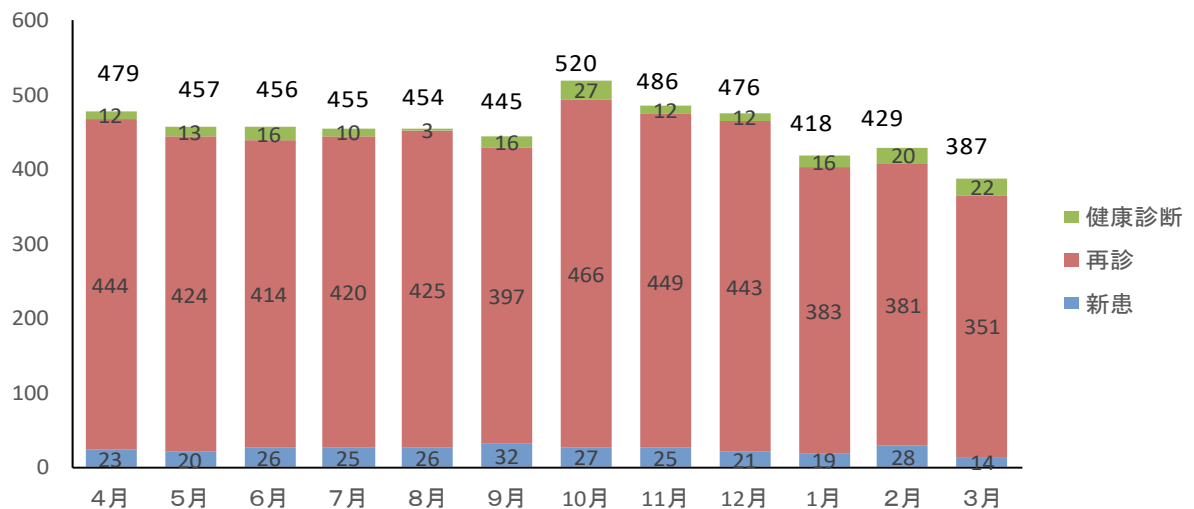


図2. 月別外来患者数

(人)



2. 禁煙外来

新型コロナウイルス感染症による影響で、令和2年1月14日から禁煙外来を中止していた。今年度より再開の見通しであったがチャンピックスの出荷停止により保留となった。

希望者には禁煙相談窓口のみの対応となっている。

表1. 禁煙外来の年度別受診者数 (人)

元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
6	11	1	0	0

3. 栄養指導・外来検査

検査はおおむね増加している。特に心エコー検査、胸部レントゲン検査、頭部CT検査、MMSE検査が増加している。頭部CT検査とMMSE検査の増加は認知症の相談が増えた事と関連している。

表1. 指導・検査別実施件数 (件)

	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
栄養指導	96	46	19	16	25
胃内視鏡検査	25	19	10	21	20
ピロリ菌抗体検査	35	11	6	12	4
ピロリ菌呼気テスト	17	13	10	12	9
腹部超音波検査	136	114	101	149	138
心臓超音波検査	113	90	75	115	123
乳腺超音波検査	5	8	3	3	5
甲状腺超音波検査	6	6	6	12	10
頸動脈超音波検査	39	31	27	51	51
表皮超音波検査	0	4	0	5	1
下肢血管超音波検査	0	2	0	0	0
胸部レントゲン検査	152	110	82	92	115
頭部CT検査	37	29	20	35	47
胸部CT検査	44	32	45	107	91
心電図検査	93	71	67	105	98
負荷心電図検査	4	4	4	2	0
骨密度検査	6	6	3	2	7
血圧脈波(ABI)検査	38	27	22	35	33
MMSE検査	22	18	16	21	26

4. その他（結核精密検査、各種ワクチン接種）

菊池市、合志市及び熊本県からの委託で、教職員及び生徒の結核検診における精密検査対象者の二次検診を行っている。検査内容は、市の教職員は結核菌特異的インターフェロングamma生産能(T-SPOT)検査及び胸部レントゲン検査、県の教職員は胸部レントゲン検査及び必要者には喀痰検査、生徒には胸部レントゲン検査を実施している。その他熊本県からの委託で、結核健康診断精密検査受診券を交付された方に対し、指定された検査を実施している。

表1. 結核検診精密検査年度別受診者数 (人)

	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
菊池市・合志市教職員(レントゲン・T-SPOT)	0	9	10	9	8
県教職員(レントゲン・喀痰等)	0	3	6	4	4
生徒(レントゲン)	0	2	1	3	7
その他(県委託分)	0	0	1	3	0

各種ワクチン接種(肺炎球菌ワクチン、MRワクチンなど)も行っており、市町村の補助による肺炎球菌ワクチン接種数について、下表に示す。

表2. 肺炎球菌ワクチン接種者数 (人)

元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
21	19	11	10	24

V. その他

1. インフルエンザ予防接種

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行が懸念されるなかで、インフルエンザの発症をできるだけ減らすという観点から、4価ワクチン変更後、ワクチン供給量が最大となり供給も早まった。

昨年度から引き続き、原則外来での接種を控えたために接種人数が減少傾向になった。

新型インフルエンザワクチンの供給については安定しており、予約者に対して必要な分を投与することができた。

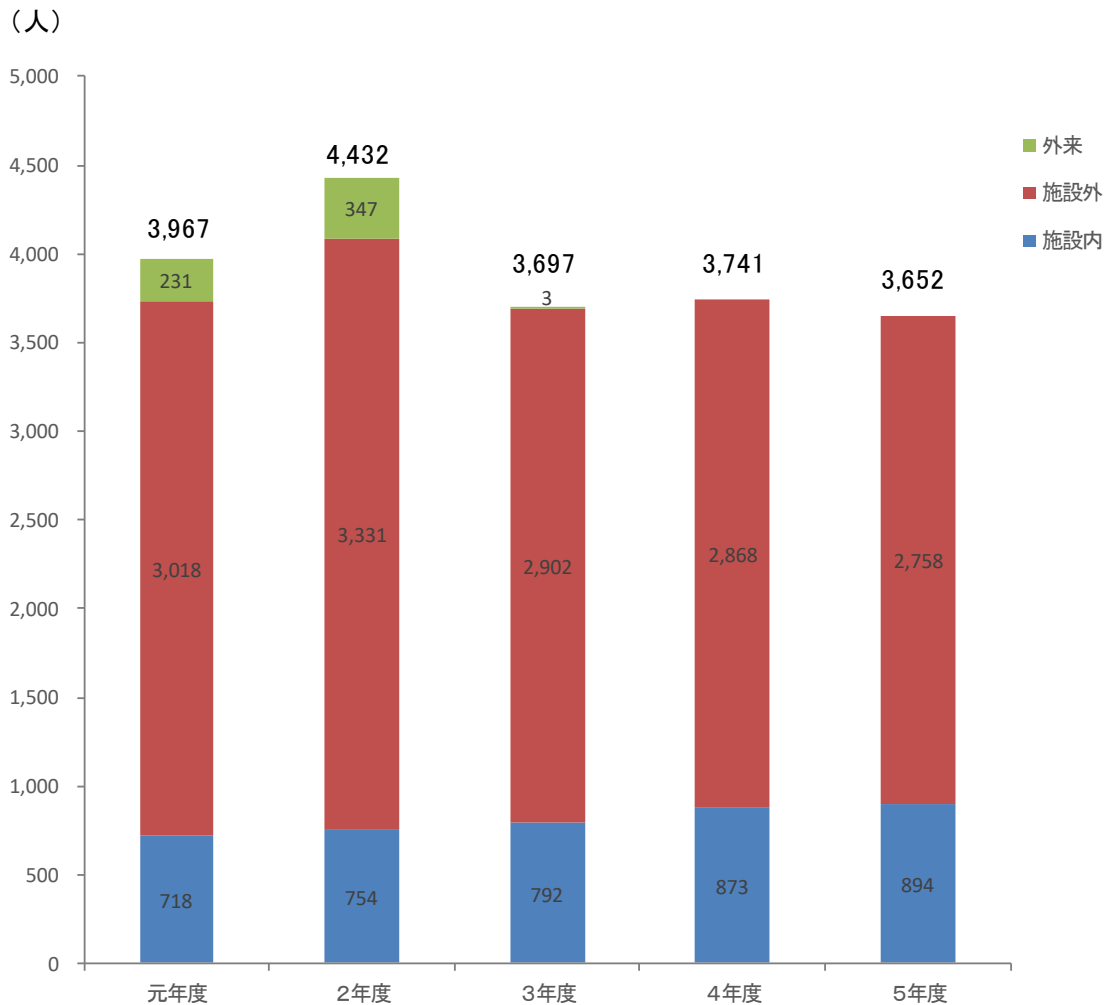
表1. インフルエンザワクチン接種者数 年度月別内訳

	10月			11月			12月			合計
	施設内	施設外	外来	施設内	施設外	外来	施設内	施設外	外来	
元年度	196	336	66	368	2432	118	154	250	47	3,967
2年度	265	799	175	378	2058	162	111	474	10	4,432
3年度	211	472	0	380	1541	0	201	889	3	3,697
4年度	250	747	0	424	1565	0	199	556	0	3,741
5年度	222	986	0	511	1525	0	161	247	0	3,652

* 施設内…人間ドック、企業、住民の予約接種者

* 施設外…外勤(企業へ出向いてワクチン接種実施)の予約接種者

図1. インフルエンザワクチン接種者 年度別総接種者数



2.新型コロナワクチン

令和3年度から引き続き新型コロナワクチン接種を実施した。昨年度同様の実施体制としたが、休日接種は行っていない。

今年度は、医療従事者の接種を主に行っている。

表1. 新型コロナワクチン接種者数 年別内訳 (人)

	菊池市		合志市		その他		計
	住民	医療従事者	住民	医療従事者	住民	医療従事者	
3年度	2,988	64	688	39	33	131	3,943
4年度	926	-	13	-	16	-	955
5年度	18	13	0	11	1	12	55
合計	3,932	77	701	50	50	143	4,953

※その他…菊池市・合志市以外